2022年度活動概要

ESP(関西)研究会

2022 年度, 関西支部 ESP 研究会では, 2回の研究会を Zoom を使ってオンライン開催いたしました。

第1回(7月30日)の1本目は、未開拓ジャンル・分野のESPに目を向け、今後のESP研究の可能性についてのご発表をいただきました。具体的にはホスピタリティ業界やレシピ英語など、ともすれば科学技術関連や学術分野に偏りがちなESP研究の将来的な方向性を示唆していただきました。2本目の研究発表は薬学部の学生を対象に、一般的な意味と専門的な意味を持つ多義語の英語医療用語の習得と学習者の意識調査に関する発表でした。この調査の結果、高校卒業までに一般的な語義を習得できていても専門的な語義は明示的に指導しなければならないことが明らかにされました。参加者は17名でした。

第2回(2月 25 日)は,ジャーナルクラブ形式の発表として,ジャンル分析の Systematic Review である Chang,A. (2019). Examining the "applied aspirations" in the ESP genre analysis of published journal articles. *Journal of English for Academic Purposes*, 38, 36–47. を取り上げていただきました。 2本目の発表はビジネスコミュニケーション教育の実践報告と学生の内省の分析,および TOEIC の利用に関してのご発表をいただきました。 3 本目は,未開拓ジャンル・分野の ESP 研究に目を向けた発表の続編として,航空業界の独特な表現などの実例をご紹介いただいた他,オックスフォード大学での在外研究情報などを共有いただきました。参加者は 14名でした。オンライン開催の長所を生かし,関東や海外在住の先生方からの発表を賜りました。

上記の研究会以外には、JACET 関西創立 50 周年記念支部紀要への活動報告執筆、および JAAL in JACET(12月3日)での SIG ポスター発表を行いました。

来年度は新体制のもと、関連する SIG や学会との連携を模索しつつ、研究会内外の先生方による実践・研究報告と最新の研究動向の情報共有も行っていく予定です。